



ひまわりだより

平成29年度
第10号
平成30年1月9日
ひまわり特別支援学校

学校教育目標：かがやく子 - 今も未来も -



「自分で決めて、相手に伝えましょう」

校長 村瀬 修一

新年明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動に、ご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年の1学期には、それぞれの仕方で「爽やかなあいさつを交わしましょう」、2学期には、今までの「爽やかなあいさつ」に加え、児童生徒それぞれの仕方で「喜びや楽しさを表現しましょう」と全校児童生徒、教職員で目標をたて実践してきました。保護者・地域の皆様のご理解とご協力もいただきながら、子どもたちは、喜んだり、楽しんだり、時には教師から指導を受けて反省したりと、それぞれが精一杯、自己を表現し、とても充実した学校生活を過ごしていました。

さて、3学期の行動目標ですが、児童生徒の状況に応じて「自分で決めて、そのことをそれぞれの仕方で相手に伝えましょう」に取り組みたいと思います。何かを自分で決める際には、それぞれのメリットやデメリットなどを考え、自分の責任において決定しなくてはなりません。好きな色を選ぶ、聴きたい音楽を選択するといった日常的なものから、自分の進路に関することまで、発達段階に応じた自己決定の範囲は様々です。引き続き、保護者・地域の皆様のご理解、ご協力、ご支援のほど、よろしくお願い致します。

1月（睦月）となりました。睦月には、家族や親族が集合して、宴を行うという意味が込められているようです。実は、この1月で、愛車と出会って丁度3年目になります。

我が愛車は、最も重い部品のエンジンが運転席の直ぐ後ろ、車の中央にあり、荷物を置くスペースはほとんどありません。しかし、ハンドルを握るたびに運転が楽しく、この車を選んでよかったと思う今日この頃です。